

5つのヨコハマ"未来物語"

私たちは今回、5つの政策の柱に加えて、5つの"未来物語"を生み出しました。

きっと未来は、私たちの想像を遥かに超える社会になっている。

「SFプロトタイピング」という手法で、

遥か未来から現代に必要な政策のヒントを得たいと考えました。

さあ、ひととき、心のしがらみから解き放たれて、

この物語たちに飛び込んでみてください。

ごあいさつ

人は未来を描くSF（サイエンス・フィクション）に心を動かされて来ました。

科学が劇的に進化した世界でなら空想が現実になるかもしれない、と胸を高鳴らせることができるからです。例えば、手塚治虫が漫画「鉄腕アトム」で描いた少年ロボット・アトムの活躍や、1865年に発表されたジュール・ヴェルヌの小説「月世界へ行く」にある人類初の月旅行。当時は単なる夢物語でしかなかった事象は、現在では日常にある科学技術となりました。人工知能を持つロボットや大気圏の先にある国際宇宙ステーション、仮想現実やアバター（自分の分身）など、SFから着想された世界に生きる私たちは、さらなる未来に心を解き放つことができます。

今回、よこはま自民党は、SFプロトタイピングという手法を用いてより良き横浜を創造するための物語を作りました。市民の皆さんが集うワークショップを3度開催し、市議と私と、ともに語り合って完成させた作品もあります。

そうして完成したSF小説の監修にあたり、私はこう強く思ったのです。さまざまな未来を思い描き、そこで暮らす人々の幸せを真に願ってこそ、目指すべき暮らし・環境を築くことができるのだ、と。5つのストーリーを皆様と共有できる今、よこはま自民党の新たなチャレンジを称えると同時に、この都市の輝かしい可能性に想いを馳せています。



監修

小松成美 ノンフィクション作家

横浜市生まれ、横浜市在住。広告会社、放送局勤務などを経て作家に転身。執筆こそが生涯を賭けて情熱を注ぐ「使命ある仕事」と信じ、1990年より本格的に活動を開始。人物ルポルタージュ、インタビュー、スポーツノンフィクション、エッセイ・コラム、小説と創作は多岐にわたる。主な作品に『中田英寿 鼓動』『イチロー・オン・イチロー』『勘三郎、荒ぶる』『YOSHIKI/佳樹』『虹色のチョーク』『それってキセキ GReeeeNの物語』など多数。ベストセラーとなった『M 愛すべき人がいて』はテレビドラマ化。作品のすべてが横浜市の自宅で誕生。

SFプロトタイピングとは

SF（サイエンス・フィクション）的な発想で物語を描き、現在にはない様々な形の試作品（プロトタイプ）を考案、作成することで、新規事業創出のアイデアを生み出す手法です。大手IT系企業を中心に、小説家などとタグを組みながら導入する例が増えています。（たとえば「スター・ウォーズ」の世界観から新規事業・製品のアイデアを得る。）よこはま自民党では、未来世代に真に必要な新たな発想の政策のヒントを得るため、今回の政策づくりに高校生・大学生・30代までの社会人の男女のグループでSF小説のプロット作りのワークショップを行い、SFプロトタイピングの手法を応用して、政策集の策定につなげました。

私の頭の中は混乱していた。

ありとあらゆる生命が混在する

鬱蒼としたジャングルのように

混沌としていた。

しかし、そんな森にも

木々を生かす清廉な水が

流れている。

私の場合はそれは涙だった。

『ワン』

物語はこちらから



該当政策

P18 医療・福祉 2項目

P18 防災・まちづくり 1項目



私はこの世に2つ、

大きな影響を

産み出してしまったのだと思う。

これはその2つについての話だ。

『マキヤロン』

物語はこちらから



該当政策
P19 環境・経済3項目
P19 財政・行政1項目

「これが最後なんだから……」

ティコは再びそう呟いた。

『チリヌルを別れ』

物語はこちらから



該当政策

P17 子育て・教育 3項目

P17 & P18 医療・福祉 2項目

P18 防災・まちづくり 1項目

P14 & P19 環境・経済 3項目

P19 財政・行政 2項目

横浜SFプロトタイピング | 3作目



私たちはどこに行っても

地球の子。

あなたは決して

エラーなんかじゃないわ。

『空は紫、私は恋』

物語はこちらから



該当政策
P17 子育て・教育 2項目
P18 防災・まちづくり 1項目
P14 & P19 環境・経済 4項目



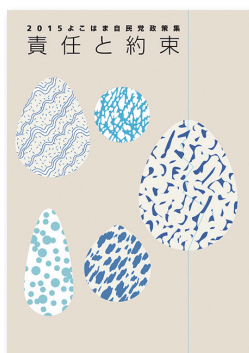
『日本一の政策集団』と評価される よこはま自民党の歩み

責任と約束 2011



8本の政策条例を
議会主導で制定することを
約束しました。

責任と約束 2015



数値目標を掲げて、
議員が政策を創ることを
約束しました。

5年間かかりましたが
8本の条例を議員提案によって
自民党主導で実現しました。

制定した条例に基づく政策を
次々と実現させて、
議員が政策を提案・実現
させる流れを作りました。



第9回(2014)

マニフェスト大賞 グランプリ

応募総数2,223件。全国No1に!
当時まだ珍しかった議員提案による
政策条例の制定をマニフェストに掲げ、
多くの条例を実現させたことが評価
されました。



第13回(2018)

マニフェスト大賞 議会部門特別賞

応募総数2,242件。マニフェストで掲げ
て実現させた政策の進捗をチェックして
さらに改善する『マニフェストサイクル』
を確立した、政策実現手法が高い評価を
いただきました。

責任と約束 2019



国連が掲げるSDGsに
合わせた横浜独自の
政策の実現を約束しました。

『SDGs未来都市』の指定と、
菅義偉首相(当時)の2050年
カーボンニュートラル宣言を受けて
未来に向けた政策を
次々と実現しました。



第17回(2022)

マニフェスト大賞最優秀賞

応募総数3,133件。インターネットによる
市民からの提案を会派として政策にまと
めるプラットフォームを作り、翌年の政策
に予算化して実現する『市民参加型の
政策実現サイクル』の実践が高く評価さ
れました。



4年前の約束から 未来の子供たちとの約束へ

2019年、私たちは『SDGs未来都市ヨコハマを実現する政策』と題し、ヨコハマ自民党政策集を市民に対して発信しました。国連が掲げる持続可能な開発目標と、横浜市が進むべき道に違いはないとの思いから政策集を策定し、3年前の菅総理による2050カーボンニュートラル宣言も踏まえて様々な政策の実現に取り組み、全国的な評価もいただきました。昨年夏には専門の政策シンクタンクによる客観的な評価を踏まえた検証大会を実施し、詳細はホームページに掲載しています。

今回は横浜の未来像を「SFプロトタイピング」という手法で示し、未来の横浜を見据えて次の4年間に私たちが実現すべき政策を市民とともに考え、発信することにしました。過去の実績があって現在がある、現在の努力で未来を切り開く。日本最大の基礎自治体の最大会派である私たちよこはま自民党が、市民との約束は責任をもってやり遂げるという思いで策定したものが、2023年版よこはま自民党政策集『責任と約束』です。横浜市民のみならず、私たちとともに未来の横浜を切り拓いてまいりましょう。

青山社中による「責任と約束2019」外部評価

総合評価 82点

2022年9月に、「責任と約束2019」の達成度を政策シンクタンクの青山社中株式会社に評価いただきました。明らかになった課題には、今後も「責任と約束2023」で取り組み続けます。



子育てと教育



医療と福祉



まちづくり



環境と経済



行財政改革

次の基準で評価を行いました。

- ・会派で(まったく)検討していない → 0点
- ・会派で検討したが、議会で質問、要望はしなかった → 10点
- ・会派もしくは所属議員が議会で質問、要望した → 50点
- ・議会で質問、要望した結果、行政(もしくは議会)が着手した → 80点
- ・議会で質問、要望して、行政(もしくは議会)が着手し実現している → 100点



横浜市中区相生町2-32-1

TEL: 045-641-1700

FAX: 045-664-5169

MAIL: mail@jiminyokohama.gr.jp

H P: www.jiminyokohama.gr.jp

このパンフレットは、
選挙期間中も配布可能です。



HP



Twitter



Facebook



YouTube